

採用担当者意識調査レポート vol.7

◆コロナ影響で採用予定を立てるのが「難しくなった」4割
◆アルバイト・パート人材が「不足している」7割弱でコロナ前と同水準に

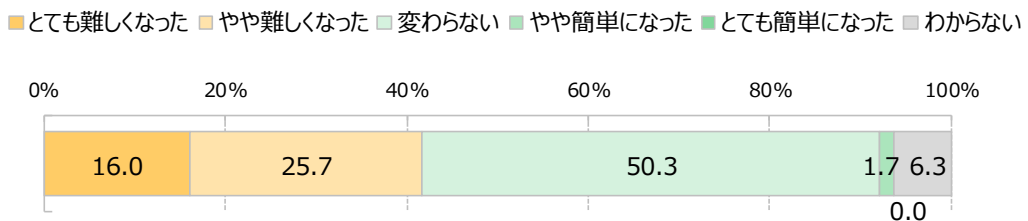
採用担当者に対して行うホットトピック・アンケート。今回は、新型コロナウイルス感染症による影響や今後の採用方針について聞きました。（調査期間：2022年2月7日～3月7日 回答者プロフィール：P.6参照）

コロナ影響で採用予定を立てるのが難しくなったと感じるか聞くと、「とても難しくなった」「やや難しくなった」との回答が合わせて約4割でした。

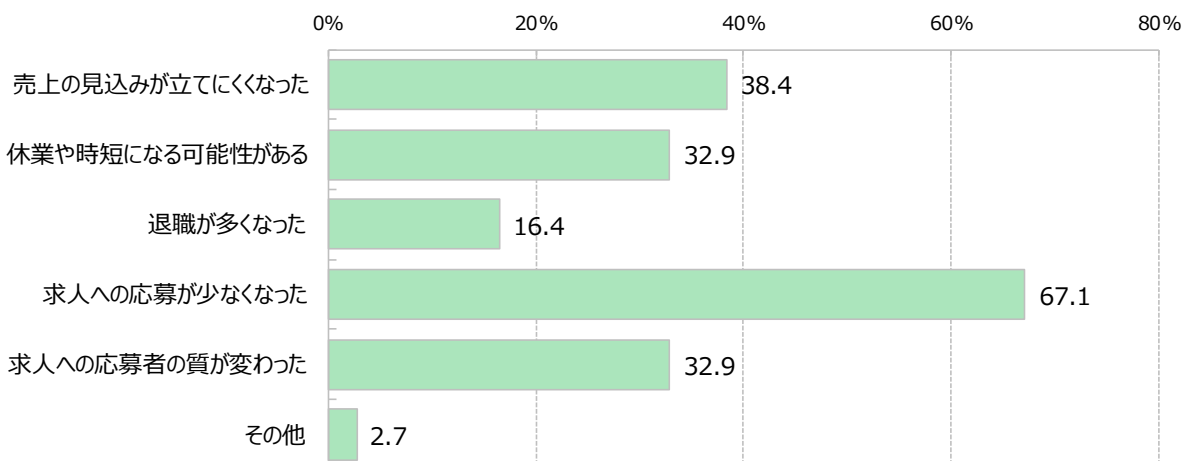
どのような点で難しくなったと感じるかを聞くと、「求人への応募が少なくなった」や「売上の見込みが立てにくくなった」の割合が高くなりました。応募者の変化については、外出や不特定多数の人に会う機会を避けるようになった、日常的な行動範囲に変化があった、といったケースの影響があるものと考えられます。

多くの企業ではコロナ影響がある程度落ち着き、採用意欲も強まっているものの、今後の採用予定にも一定の影響が出るものと考えられます。

Q ▶ 新型コロナウイルス感染症の影響で、コロナ前に比べ採用予定を立てるのが難しくなったと感じますか。（単一回答）【対象：全員（n=175）】



Q ▶ どのような点で採用予定を立てるのが難しくなったと感じますか。（複数回答）【対象：「とても難しくなった」「やや難しくなった」と回答した人（n=73）】

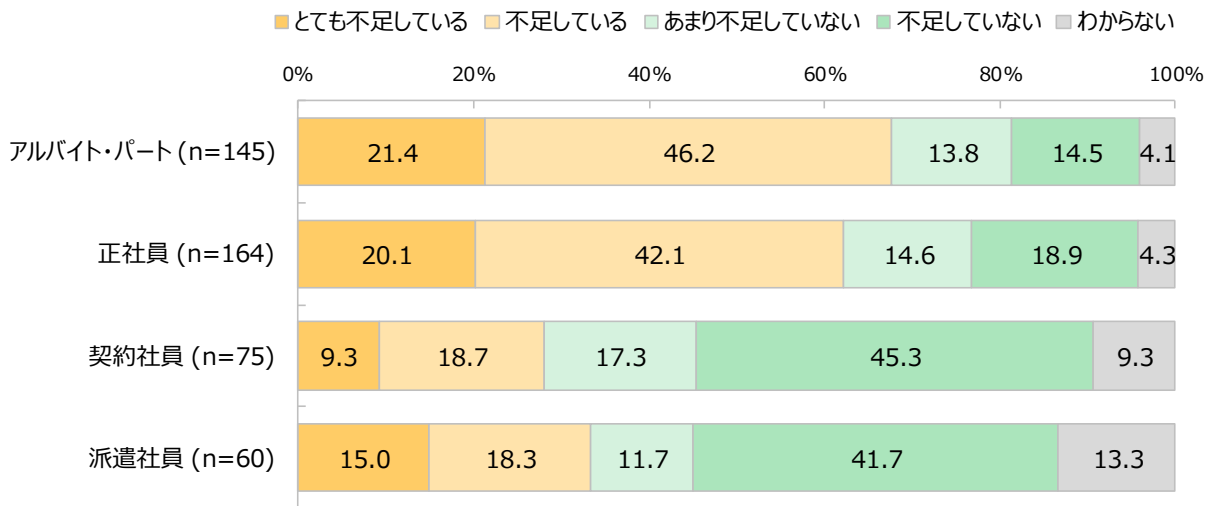


アルバイト・パートが「とても不足」「不足」7割超 正社員も6割超

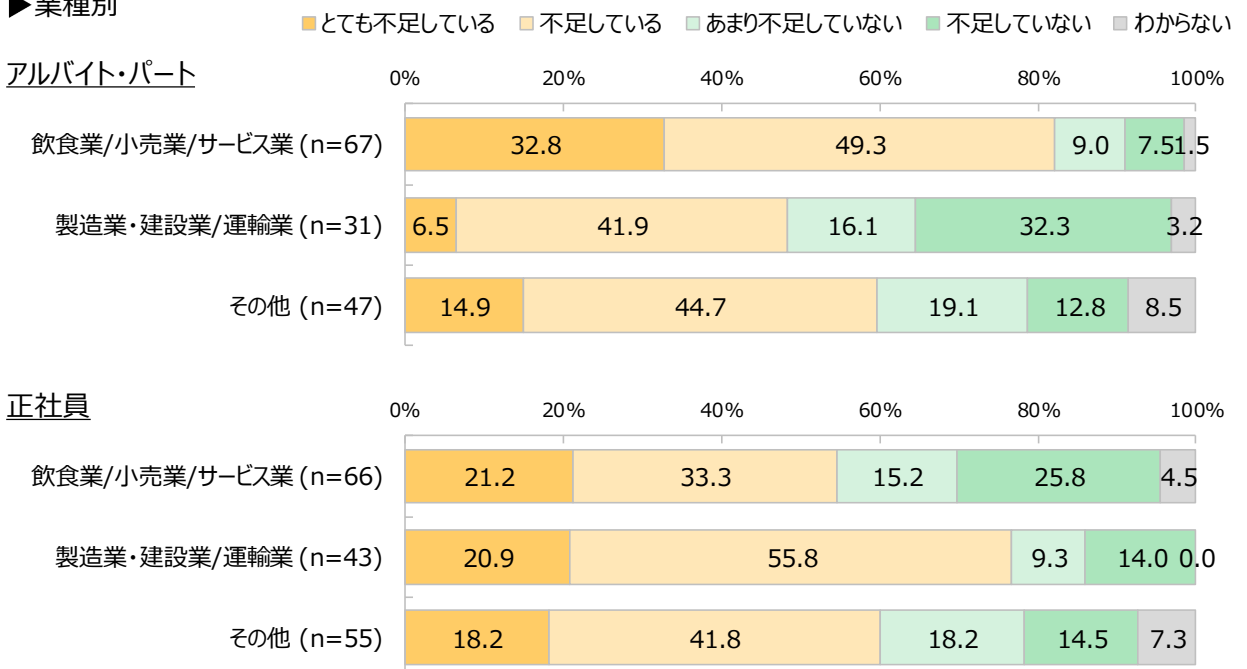
次に人材不足感を聞くと、アルバイト・パートが「とても不足している」「不足している」との回答は7割弱、正社員については6割超で、不足しているとの回答が少なくありません。契約社員と派遣社員については3割程度でした。

業種別の傾向を見ると、アルバイト・パートの人材不足感は、飲食業/小売業/サービス業で他よりも高くなっています。一方、正社員の人材不足感は、製造業・建設業/運輸業で高くなっています。（業種の詳細はP.6参照）

Q ▶お勤め先で人材が不足していると感じますか。（単一回答）【対象：全員】 ※「この雇用形態の従業員はいない」と回答した人を除いて集計



▶業種別

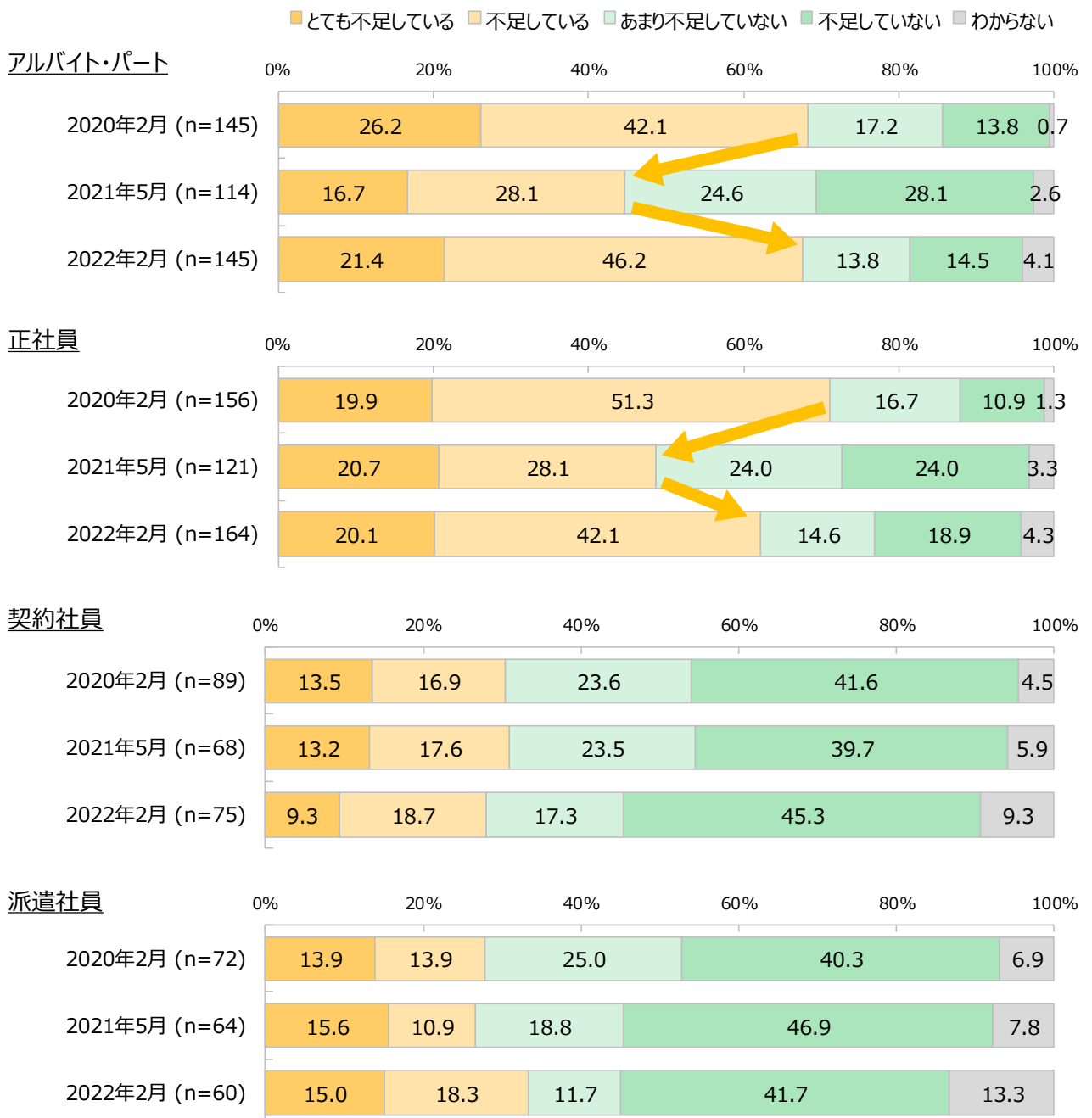


アルバイト・パートの人材不足感、コロナ前と同水準に戻る

前頁の人材不足感がどのように変化してきたかを見てみましょう。アルバイト・パートが「とても不足している」「不足している」との回答は、2020年2月の調査では7割弱でしたが、2021年5月には4割超に減少し、今回2022年2月には7割弱に戻っています。コロナ影響で一時的に低下していた人材不足感が、再び強まっていると考えられます。正社員についても、同じように減少から増加に転じています。

契約社員と派遣社員については「とても不足している」「不足している」との回答が3割程度で、あまり大きな変化はありませんでした。

Q ▶お勤め先で人材が不足していると感じますか。(単一回答)【対象：全員】※「この雇用形態の従業員はいない」と回答した人を除いて集計

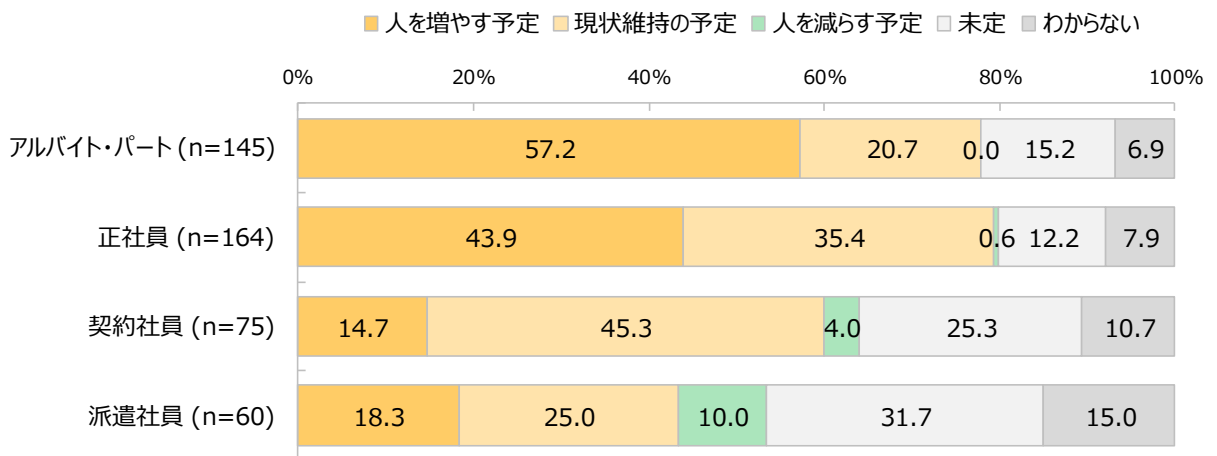


22年度の採用方針「人を増やす予定」が約半数

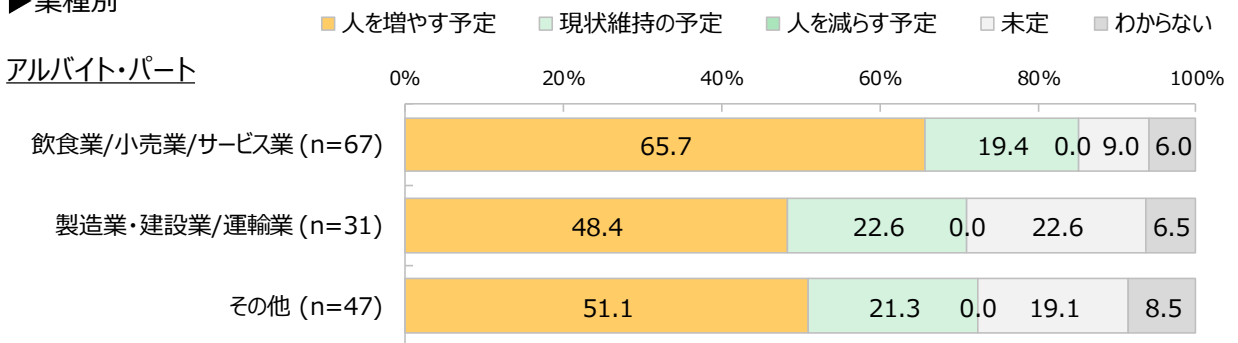
続いて来年度（4月～）の採用方針について聞くと、「人を増やす予定」との回答がアルバイト・パートについては57.2%、正社員については43.9%と、約半数となりました。一方で、「人を減らす予定」との回答は数パーセントに限られています。コロナ影響がある程度落ち着き、人材不足感と採用意欲が増しているものと推測されます。

業種別に見ると、アルバイト・パートについては飲食業/小売業/サービス業で「人を増やす予定」との回答が多く、正社員については製造業・建設業/運輸業で「人を増やす予定」との回答が多くなっています。P.2で見た人材不足感とも対応していると言えるでしょう。

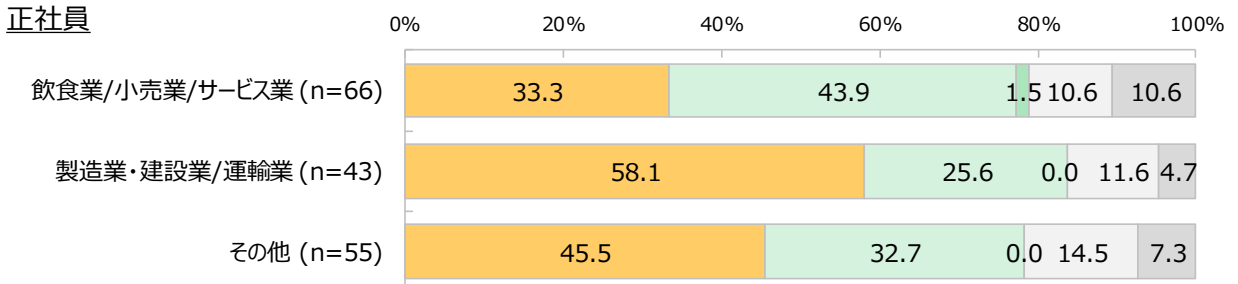
Q ▶来年度（4月～）の採用方針はどのような予定ですか。（単一回答）【対象：該当する雇用形態の従業員がいる人】



▶業種別



正社員

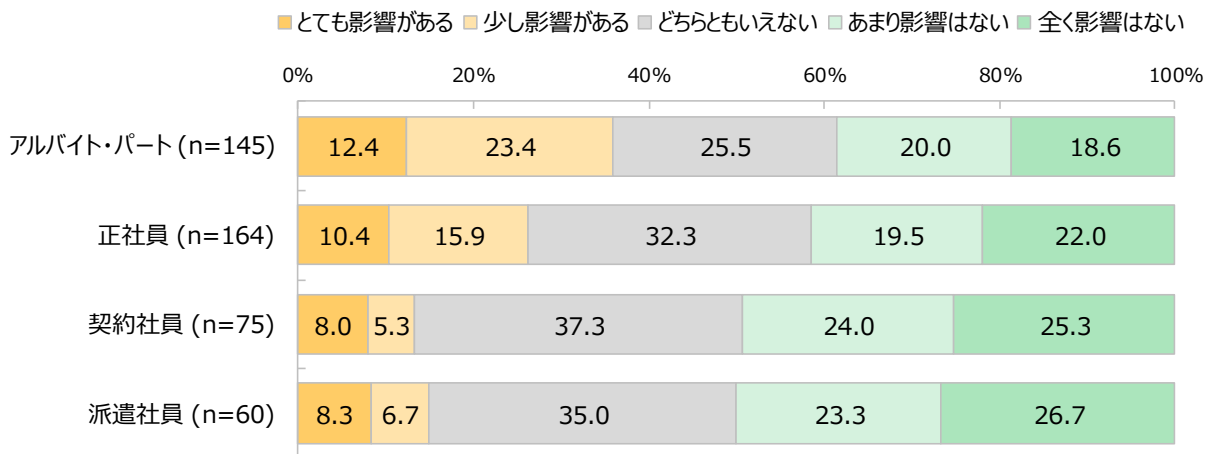


採用予定へのコロナ影響あり アルバイト・パートで3割超

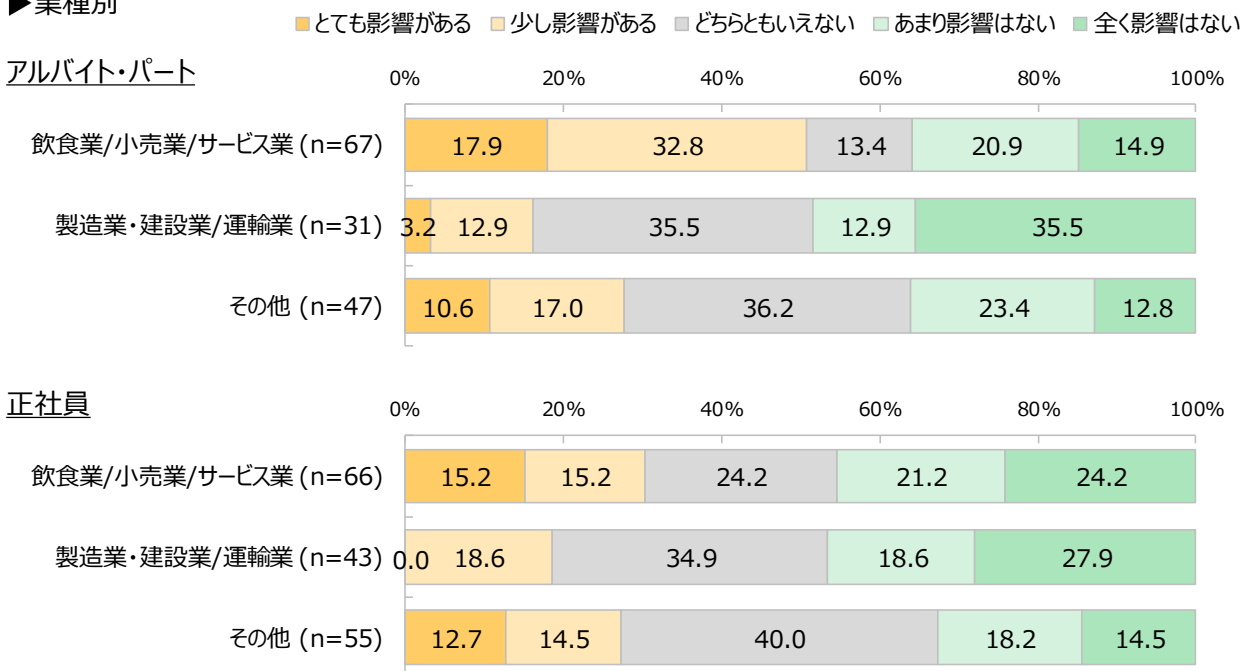
来年度（4月～）の採用予定に新型コロナウイルス感染症の影響があるかを聞くと、「とても影響がある」または「少し影響がある」との回答は、アルバイト・パートで3割超、正社員で2割超でした。契約社員と派遣社員では2割未満となっています。

業種別に見ると、アルバイト・パートについて飲食業/小売業/サービス業で「とても影響がある」「少し影響がある」との回答が約5割と、他に比べて多くなっています。これらの業種ではアルバイト・パート従業員の比率が高いことや、業績へのコロナ影響が大きいことが背景にあると推測されます。

Q ▶新型コロナウイルス感染症をめぐる状況（オミクロン株の拡大等）で、来年度（4月～）の採用予定に影響がありますか。（単一回答）【対象：該当する雇用形態の従業員がいる人】



▶業種別



調査概要

- アンケート方法：インターネットアンケート
- 対象：弊社メールマガジン会員・採用担当者向けサイト訪問者
- 調査期間：2022年2月7日（月）～3月7日（月）
- 有効回答数：175

※レポート内の数値は、集計結果の小数点第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100にならない場合があります。

回答者プロフィール (n=175)

<地域>	(%)
北海道・東北	7.4
北陸・甲信越	1.1
関東	49.1
東海	15.4
関西	15.4
中国・四国	4.0
九州	7.4

<業種>	(%)
サービス業	19.4
製造業・建設業	15.4
飲食業	12.6
医療・福祉関連業	10.9
小売業	9.7
運輸業	9.7
人材サービス業	6.3
情報通信業	1.1
金融・保険・不動産業	0.6
その他	14.3

<従業員規模>	(%)
5人未満	8.6
5～30人未満	40.0
30～100人未満	26.9
100～300人未満	12.0
300～1,000人未満	8.6
1,000人以上	4.0